

平成 30 年度 社南公民館 事業方針

基本方針

社南地区は日野川・狐川・江端川の清流が流れ、雄大な田園風景と後方には足羽山・兎越山・八幡山の足羽三山が緑豊かにそびえ立ち、四季折々の美しい姿を見せてくれている。

一方で、地区内には四方に公道が張り巡らされ、大型量販店や飲食店が立ち並び、活気があり、生活に便利なまちでもある。

ここ数年、地区の人口はほぼ横ばいであるものの、自治会加入率は減少傾向にあり、地域とのつながりや住民相互の絆が希薄化している。

今後、一人暮らし高齢者の一層の増加、生活面や福祉面などで様々な課題が生じ、個々の異なる対応が求められることも想像され、「地域社会づくりに向けた次世代の担い手育成」や「地域全体での子育て」「身近な地域コミュニティでの住民自治の構築」など複雑化する地域課題に対応することが必要になってくる。

公民館を核として、地域の団体や諸機関が一体となって、地域の特性を生かしながら 10 年、20 年先の風景を見据え、全ての世代が満ち足りた人生を送ることのできる環境を作ることができるよう、持続可能な地域社会に向けた地域づくり活動を推進していく。

実施方針

- ・ 高齢者が、はつらつと生きがいのある日々を送るため、講演会や音楽会・体験ツアーなど、楽しく意欲的に学ぶことができるよう事業の充実を図る。
- ・ 青少年が様々な事業を通して、地域の一員である自覚をもつことができるように地域と連携した企画に取り組む。その中で地域の食・文化・伝統を肌で感じられるようにする。
- ・ 地区内を歩きながら、その町内の今昔を聴き取り、情報を発信することで、あらためて自分の住むまちを見直し、郷土への愛着や誇りを次世代へ伝えていく方法を探る。
- ・ 子どもが心身ともに健やかに育つよう、生きる手本となるべき親が明るく健康で前向きになるための情報を収集・共有できるしくみを作る。
- ・ 自主グループの指導や育成のための連絡会を開催し、公民館活動の充実・活性化を図る。
- ・ 地域住民が、公民館事業等を通じ、誰もが楽しみながら参加できるよう公民館だよりやホームページ等を充実させ、多様な情報提供を行う。
- ・ 地域の諸団体の情報交換や連絡調整、様々な事業の連携を図り、地区の活性化につなげる。
- ・ 今年開催される「福井しあわせ元気国体」「福井しあわせ元気大会」に向けて、一人ひとりがそれぞれの立場で出来ることを探り、様々な形で大会に主体的に参画することを目指す。
- ・ 柔軟な行動力を持つ若い世代が集まることで、これまで取り組んだことのない新しい視点からの活動で地域を盛り上げることによって、地区の活性化につなげ、地域振興の担い手となる人材の育成を図る。